



三つのペン

羽ばたけ 未来を
生きぬく田上っ子
～目標に向かって考え
高め合う子～

家庭数配付・地域回覧

TEL 0256-57-2017

FAX 0256-57-4641

Eメール:hanyuda-es@edu-niigata.ed.jp

HP: <http://www.hanyudaes.tagami.ed.jp/>



【学校 HP】

「明文化されていないルール」

校長 浅野 哲司

社会の中には、法律や校則のように「文字で決められているルール」と、そうではない「明文化されていないルール（モラル）」があります。たとえば、順番を守る、人の話を静かに聞く、落とし物を拾って届ける・・・こうした行動は、誰かに強制されるものではありませんが、人と人が気持ちよく関わるために欠かせない約束ごとです。

先日、6年生の子どもたちが、月の観察をするためにグラウンドに出ました。その時に、一人の子どもが捨てられている小さなゼリーの容器を見付けると、すぐに拾い始めました。他の子どもたちもその様子を見て「あっ、ここにもある」「たくさん落ちている」とつぶやきながら、次々に拾い始めました。教師が指示した訳でもなく、子どもが進んで拾い始めたのです。6年生の理科を担当している職員はその姿に感心し、このことをすぐに私に知らせてくれました。

子どもがどうしても拾ったのか、その理由は分かりません。ただ「みんなが使うグラウンドにごみを落としてはいけない」というモラルが身に付いていたのだと思います。6年生の場合、そのモラルが1人だけではなく、大勢の子どもに身に付いていたと言えます。これは大変素晴らしいことです。

しかし、このようなモラルは簡単に身に付くものではありません。周囲の大人が日頃から声を掛けていくこと、そして常により手本示してくれていることが大切です。私たち教師も、子どもにモラルが身に付くように、常により手本を示さなければならないと思っています。また、手本を示すだけではなく、目に見える問題を取り上げながら、子どもたちにモラルについて考えさせる場面をつくっています。先日行われた1年生の道徳では、モラルを守るべきかどうかで悩む子ダヌキの話を読み、最後は自分で判断して行動することの大切さを学習しました。子どもは「こうすると気持ちがいいね」「こうしてくれてありがとう！」など、互いに声を掛け合うことで“見えないルール”を感じ取り、自ら考えて行動する力につなげているのだと思いました。

明文化されていないルールを大切にできる学校・・・。それこそが心の通い合う学校であり、社会で生きていく力を育むことにつながります。羽生田小学校もそんな学校をめざしていきたいと考えています。



1年生道徳「ポンタとカンタ」の授業風景

6年生大活躍！親善陸上大会



親善陸上大会の激励会では、
5年生を中心に全校の応援を受けました！

応援を受けてやる気 UP の6年生！



9月25日に行われた第3回加茂・南蒲小学校親善陸上大会では、精一杯の力を発揮して競技に
応援に取り組みました。競技では、素晴らしい記録を残しました。また、力いっぱい声を出して
仲間に送った応援は、会場でも「羽生田小の応援は素晴らしい」と話題になりました。6年生にと
って忘れられない大会となりました。

入賞者

種 目	順 位	氏 名
男子 1500m	第5位	Y A
男子走り高跳び	第2位	A M
4×100m リレー	第5位	Y A
		H D
		H S
		A M

種 目	順 位	氏 名
女子 800m	第3位	K A
	第6位	Y K
女子 100m	第2位	T S
女子走り幅跳び	第2位	K K
女子走り高跳び	第2位	K H
4×100m リレー	第2位	K A
		K H
		H A
		T S

※男子走り高跳び第2位の Y A さんは、大会タイ記録（127 c m）でした。1位の選手も同記録のため、試技の回数により順位は2位となりました。

※女子 100mの T S さんは、2位でしたが、大会記録を更新（14 秒 9）しました。